

教科（科目）	国語（論理国語）	単位数	4単位	学年（コース）	2年次 選択
使用教科書	『新 論理国語』（三省堂）				
副教材等					

### 1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的・的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 指導の重点

- ① 人間・社会・自然などについての文章や、設定した題材について学ぶために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにすることを目指す。
- ② 文章を的確に読み取る力を養い、論理的に考え、多角的なものを見方を身につけさせることを目指します。
- ③ 設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理し、自分の考えをまとめたり発表したりする力をつけさせることを目指します。

### 3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

### 4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行う。		
知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、表現の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物の内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから、評価します。
各観点「A：十分満足できる」「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」で評価します。		

### 5 学習計画

月	単元名	領域と授業時数	教材名	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
4	導入	(1)	「言葉は平等な内面を作り出す」	・教材文を読む。 ・「言葉は平等な意味を作り出す」とはどういうことを考える。	a b c	ワークシート (記述の確認) 振り返りシート (記述の確認)
4 5	論点を整理するために	B (10)	「若者に友達プレッシャー」 「自分を捉え直す」 「他者を理解する」	・「友達プレッシャー」とはどのようなことかまとめる。 ・「同輩集団以外の多様な関係」の必要性を説明する。 ・本文中の「本当の自分」「分人」「他者」という言葉を手がかりに筆者の主張をまとめる。 ・「わかる、理解する」と「感情の共振」の違いを説明する。	a b c	ノート (記述の点検) ワークシート 発表の様子 (行動の確認) 振り返りシート
		A (6)	情報を整理する	・「要点」「要約」「要旨」の違いを理解したうえで、3つの文章の内容をそれぞれ200字程度で要約する		
5 6	正しく推論するために	B (10)	「一人で爆笑」 「カタカナ語は享受すべきか」	・言葉の使い方をめぐって対立する意見を議論する際の筆者の考え方をまとめる。 ・表題の問いに対する筆者の考えを本文に沿って整理する。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
		A (6)	文章をリフォームする	・文章を修正し、より伝わるものにリフォームする。		

6	前期中間考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
7	事例の意味を探るために	B (10)	「多様な視点から考える」	・本文で取り上げられている事例の役割とその効果を整理する。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
			「女性／男性だから〇〇」	・筆者の指摘する「異質平等論」の問題点を整理する。		
		A (6)	意見を書く	・上野千鶴子のフェミニズムについての意見を見て、根拠や事例をあげながら、意見文を書く。	a b c	ワークシート 意見文 発表の様子 振り返りシート
9	構成を吟味し説得力を高めるために	B (10)	「落語の中の経済学」	・オークションでいう「勝者の呪い」について説明する。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
			「ホンモノのおカネの作り方」	・具体例を手がかりに「ホンモノのおカネ」が生まれる「逆説の作用」とは何かをまとめる。		
		A (6)	レポートを書く	・情報を整理し、伝えたい内容を明確にしてレポートを作成する	a b c	情報整理カード レポート 発表の様子
9	前期期末考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
10	信頼性を吟味するために	B (12)	情報の内容を吟味する	・若者の勤労意識に関する調査結果を読んで考えを述べ合う。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
			「なぜ私たちは労働するのか」	・「やりがいのある仕事」の世代間による語義の差を整理する。 ・筆者の考える「労働の本質」をまとめる。		
			「『すべり台社会』と溜め」	・「すべり台社会」「溜め」とは何かを整理してまとめる。 ・経済学者の引用が論点にもたらす効果を説明する。		
		A (8)	投書を書こう	・新聞の投書欄を読み、書き方のポイントを整理する。 ・構成やわかりやすい表現を工夫して投書を書く。	a b c	ワークシート 投書意見文 振り返りシート
11	隠れた前提を探すために	B (10)	「地球上の『旅人』」	・筆者にとっての「アウェイ」「ホーム」の関係について、筆者の体験を整理しながら説明する。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
			「誰かの靴を履いてみること」	・「エンパシー」と「シンパシー」について言葉の意味や筆者の考えを整理して説明する。		
			「スポーツとナショナリズム」	・ふたつの密接な関係について本文の具体例に基づいて説明する。		
		A (8)	レビューを書く	・レビューについて知る。 ・伝えたい情報を整理して身近な事柄をレビューにまとめる。	a b c	ワークシート レビュー作品 振り返りシート
11	後期中間考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
12	具体と抽象の関係を理解するために	B (10)	「人類による環境への影響」	・「共生型戦略」と「征服型戦略」について整理する。 ・「生態系の跳躍的变化によるカタストロフを避ける」方策を話し合う。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
			「この十年をどう生きるか」	・人類が直面する「瀬戸際」といえる理由をまとめる。 ・パラダイムシフトが「日本のチャンス」になるのはなぜかを説明する。		
		A (6)	「プラスチックごみについて考える」	・「プラスチックごみ問題」に関するデータをもとに、自分の意見をまとめ記述する。	a b c	ワークシート 発表の様子 振り返りシート
1	批評するために	B (10)	「〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀」	・「映像が強い影響力をもった背景」を説明する。 ・表題の二つのほかに、現代を作りあげたものの具体例をあげ、その功罪を指摘する。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート
			「言語ゲームと哲学的感度」	・「このマンガのほんとうのおもしろさ」についてまとめる。		
			「日本マンガのブルーオーシャン戦略」	・「ブルーオーシャン戦略」とは何かをまとめる。 ・3つの図表の効果を説明する。		

1		A (6)	報告文を書く	・身のまわりから「行きて帰りし物語」を探し、手順に従って 800字の報告文を書く。	a b c	ワークシート 報告文 発表の様子 振り返りシート
2	後期期末考査	(1)			a b	ペーパーテスト (記述の分析)
2	自分の解釈を 形成するため に	B (6)	学びとは何か	・創造性についての筆者の考えを、各節ごとに具体例をもとに まとめる。	a b c	ノート ワークシート 発表の様子 振り返りシート

計 140 時間 (50 分授業)

※領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「書くこと」 52時間	B「読むこと」 88時間
-----------------	-----------------	-----------------

6 課題・提出物等

- ・各單元ごとに漢字や語句の基礎テストも行います。
- ・單元ごとに振り返りシートを記入し、提出することになります。休業中の課題は、別途指示します。

7 担当者からの一言

「論理国語」は、実社会・実生活に必要な国語の知識を身に付けるだけでなく、情報を収集、整理しながら事象の意味を論理的・批判的に考え、理解を深めていく科目です。授業では、語句の正確な把握など基礎基本を大切に、主体的に学びましょう。人間、社会、自然などについての作品の深い読解を心がけ、自らの生活を豊かにする姿勢を養いましょう。